



その情報、ほんと？うそ？

ニセ・誤情報に騙されないために



インターネット上には、たくさんの情報であふれています。しかし、その情報がすべて正しいとは限りません。インターネットには、間違った情報（誤情報）も多く存在し、さらにはわざと間違った情報（ニセ情報）を流す人もいます。インターネットと上手に付き合うためには、正しい情報と間違った情報を見極めることが重要です。今回は、ニセ・誤情報の例と、だまされないためのチェックポイントをご紹介します。



ニセのSOS

「〇〇市△△町で動けない人がいます！助けて！」という投稿を見て、助けてあげようとシェアしたり、警察へ通報したりする人がいた。しかし、実はその情報はSNS上で闇バイトへ誘導するためのニセ情報だった。



裏ワザ動画の誤情報

生活情報動画で、ある薬剤を使った裏ワザが投稿されていた。薬剤の使用上の注意も確認せず、見よう見まねで薬剤を使った結果、薬剤を入れた容器が破裂し大けがをする事故が起こった。



ニセの動画や写真を使ったニセ情報

地震発生時、地震のようすを写したある動画や写真が拡散された。しかし、その動画や写真はニセモノだった。被災地の情報の混乱を招き、救助活動にも影響を及ぼした。



有名人の画像や音声を無断で使用したサギ広告

有名人の写真や音声を無断で使用し、SNSで広告を出し、その広告を信じた人が投資詐欺などに誘導され、お金をだまし取られてしまった。



その情報、まずはチェック！

その情報はどこから、いつ、だれによって発信されたもの？



発信元をチェックしよう！

その分野の専門家による発信？過去の発信や関連する商品を買っていない？お金を稼ぐためのニセ情報かもと疑おう！



他の人や他のメディアの意見は？いろんな意見を調べてみよう！



その画像はほんもの？過去の情報や無関係な情報が投稿されていない？画像検索してみよう！

